

持続可能な未来づくりカーボンニュートラルさつま町宣言 ～自然との共生による「ウェルビーイング」の実現～

【目指す姿】

自然環境保全に努め、自然の恵みを活用し、生きる喜びを感じ、健康で安心して暮らすこと（ウェルビーイング）ができる町をつくり次世代に引き継ぐ。

ウェルビーイング：「幸福」「健康」という意味があります。WHO（世界保健機関）憲章の前文の一節にも引用されますが、幸福で肉体的、精神的、社会的すべてにおいて満たされた状態を意味しています。

【取組の方向性】



◆オレンジ（サン） カーボンニュートラル

太陽光や電気への転換等の再生可能エネルギーの活用や省エネルギーの推進による事業の展開



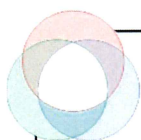
◆グリーン（フォレスト） カーボンニュートラル

森林環境の活用等による事業の展開



◆ブルー（ウォーター） カーボンニュートラル

水資源や温泉、水素等の活用による事業の展開



◇ホワイト（赤緑青の混合色）カーボンニュートラル

3つの取組を進めていくための必要な環境づくりや町民や地元企業への周知・啓発による事業の展開

【推進する施策（案）】

- | | |
|----------------|----------------|
| 1 豊かな森林環境の保全 | 2 再生可能エネルギーの活用 |
| 3 省エネルギー活動の促進 | 4 脱炭素型まちづくりの推進 |
| 5 地域産業の脱炭素型の推進 | 6 循環型社会の推進 |
| 7 環境意識の向上 | |

【数値目標】

2013年：※21.4万tCO₂から

2030年までに46%：9.8万tCO₂削減を目標とし、

2050年までに「実質ゼロ」とする。

※出典：自治体排出量カルテ